

「おめでとう」という祝福の言葉は、「どうか、お二人の人生の苦楽に御芽が出来ますように、御(おん)芽(め)出(で)到(どう)」と、周りの皆さんからの湧き出する願いの言葉ではなかろうか。

宗祖のご生涯に訪ねたならば、承元の法難による流罪生活の中から結婚生活が始まつた。しかしながら宗祖はその流罪生活の現実から仏の言葉を信受し、法然上人の言葉に出遇い直されたのではないか。

宗祖にあつては、人生の歩みの中での苦に対応されたり、対処されたのではない。苦から問われ、その問い合わせとともに「人間とは」「生きるとは」ということに真向になられた人なのではないか。

「おめでとう」という祝福の言葉は、「どうか、お二人の人生の苦楽

婚式であろう。

当院での挙式の終わりに、必ず司婚者からのお祝いを一言述べさせていただいている。それは、「何もかも違うお二人が、今日から一つの生活をされます。大事なことは、お互が何をも違うという認識が必要です。その確認はけんかを通してでしかないように思います。けんかによつてお互いが何を考え、何を求めているかが知らされるのです。どうか、けんかができる夫婦生活をしてください」というものである。

「行(ぎよ)うに当(あたり)苦楽(くらく)の地に至り趣(おもむ)く」とは『仏説無量寿經卷下』の言葉である。それは、人間が生まれ、生を営むにあたつては苦樂の世の中に至つたということである。苦樂の中を二人同伴で生きていく決意を、仏前において互いに確認する法要が仏前結婚式であろう。

今年中に十四組の仏前結婚式が当院にて実施される。親族や友人から「おめでとう」の祝福を受ける新郎新婦を見ているだけで、微笑ましく、温かい心になる。

### 仏前結婚式に想うこと



第24号  
平成27年(2015年)  
7月・8月・9月号  
発行:編集  
岡崎別院  
輪番 福田 大

## 2015年 朝の法話(暁天講座)のご案内

本年度も当院にて朝の法話(暁天講座)を厳修いたします。三日間にわたり早朝から各講師に御法話いただきます。どうぞお誘い合わせの上、ご聴聞いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

### ● 7月25日(土) 6時45分~8時

講師 高橋 法信 師(同朋会館教導・大阪教区第五組光徳寺住職)  
講題 「浄土を本国としてこの世を生きる」

### ● 7月26日(日) 6時45分~8時

講師 一楽 真 師(大谷大学教授・小松教区第二組宗圓寺住職)  
講題 「浄土こそ真宗」

### ● 7月27日(月) 6時45分~8時

講師 中川 皓三郎 師(前帶広大谷短期大学学長)  
講題 「浄土真宗」

\*三日間ともパンとコーヒーを用意してお待ちしております。

- 七月三日 (金)十四時~ 輪番  
○八月三日 (月)十四時~ 輪番  
○九月三日 (木)十四時~ 輪番
- 七月十三日(月)九時半~ 輪番  
○八月二十三日(日)九時半~ 輪番  
○九月十三日(日)九時半~ 輪番
- 七月二十五日(土)~二十七日(月)
- ※詳細は一頁をご参照ください。
- 第九回蓮華の集い**
- 八月二十一日(土)十時~
- 秋季彼岸会**
- 九月一十三日(水)九時半~
- 孟蘭盆会**
- 八月十三日(木)九時半~
- 長浜教区第十二組即住寺住職  
京極 真了 師
- 本願寺派 奈良県教学寺住職  
板橋 宏憲 師
- 大谷大学准教授 富岡 量秀 師

※お盆参りのご案内  
八月にお盆参りを致します。後日返信用の葉書を郵送いたします。



五月二十六日	蒲池 淳子さん	誓さん
四月二日	長坂 真澄さん	エフゲニー・ブリノフさん
四月二十六日	蒲池 淳子さん	エフゲニー・ブリノフさん
五月二日	宮野 夕さん	浩親さん
五月十七日	藤谷 優さん	善信さん
五月二十五日	大橋 真希さん	篤さん

宗史蹟親鸞聖人岡崎草庵跡  
真宗大谷派(東本願寺)

## 岡崎別院

〒606-8335

京都市左京区岡崎天王町

26番地

電話・FAX 075-771-2921

<http://okazakibetsuin.com>  
[info@okazakibetsuin.com](mailto:info@okazakibetsuin.com)

△列座のつぶやき  
聖跡参拝中、何度も食事のおかわりをしていました。普段はそんなに食べないのでですが、多くの人数で食事をいただくことの大切さを知らされました。(安孫子)

なお、予約の詳細はHPで公開中です。

☆九月五日	龍池家
☆十月十一日	竹村家
☆十一月二十八日	坪井家
☆十二月二十日	某家
☆十二月二十三日	某家
五月三十日	河嶋 朋子さん
五月三十日	河嶋 朋子さん
五月三十日	河嶋 朋子さん



五月三十日

朋子さん



去る三月十四日、春の彼岸会法要に向けて、仏具のおみがきが行われた。薬品で磨く人、新聞や布で仕上げていく人に分かれ、作業が進められた。十五名が参加した。



## 岡崎別院おみがき

去る二月二十八日、山城第二組主催の「第一回仏教市民公開講座」が開催された。テーマは「死を通して生きる意味を考える」で、当初予定の講師が急病のため、川村妙慶師が代講された。本堂は話を聞きに来られた方で満堂であった。

川村妙慶師  
月二十三日に池坊短期大学で行われる。



## 開教師研修（五月十五日～二十一日）

北米（ハワイ）開教師の研修として当院で生活された。

菊地遊氏

南米（ブラジル）開教師の研修として当院で生活された。



## 第一回子ども茶道教室

三月二十三日には岡崎別院茶道教室では、第一回子ども茶道教室が開催された。

三名の児童が参加し、お手前の練習をした。



## 春の彼岸会法要

三月二十三日、当院にて春の彼岸会法要が厳修された。滋賀県樹沢陽舎舎幹の栖雲深泥師に御法話いただいた。

五十名が参詣された。

三名の児童が参加し、お手前の練習をした。



## 第一回子ども茶道教室

三月二十三日には岡崎別院茶道教室では、第一回子ども茶道教室が開催された。

三名の児童が参加し、お手前の練習をした。



花まつり・灌仏



節談説教・亀田晃巖師

十一日には地域の飲食店組合など各団体の協力のもと、オカザキプレイが開催された。本堂御拝付近を舞台として地域の有志や学生達、プロのミュージシャンによる各ショッピングモールも出店された。約千三百人が来院した。

また期間中は本堂や書院を会場として、戦争展や寺慢展（寺宝展）、琳派礼讃（狩野派若手作家の作品の展覧会）も開かれた。

# 親鸞WEEK

四月五日～十二日にかけて、親鸞WEEKが行われた。五日は子ども会・花まつり、

六日は山城第二組唯明寺住職亀田晃巖師の

節談説教、十日には別院をゴールとした、

教区主催親鸞ウォークが行われた。



賑わう人々

オカザキプレイ

寺慢展

親鸞ウォーク



夜の部の演奏

岡崎別院雅楽会

琳派礼讃

原爆と戦争展



**打ち上げ会**

五月十七日に六十名が参加して庭園で打ち上げ会のバーベキューを行った。東屋には特設のBARも設けられた。

八十名余りが聴聞に訪れ、満堂となつた。

橋本周現師（黒谷金戒光明寺筆頭執事）と親鸞聖人の講題でお話の後、両師の対談の時間がもたらされた。

草野顕之師（大谷聖人と岡崎別院）、橋本周現師（黒谷金戒光明寺の歴史と親鸞聖人の講題でお話の後、両師の対談の時間がもたらされた。

河和田報仏寺 御田植御旧跡 如信上人遷化地 南米（ブラジル）開教師の研修として当院で生活された。

最終日の十二日には宗史蹟公開講座が開催された。

草野顕之師（大谷聖人と岡崎別院）、橋本周現師（黒谷金戒光明寺の歴史と親鸞聖人の講題でお話の後、両師の対談の時間がもたらされた。